

Tidal Enterprise Scheduler : ジョブ xxx の I/O のハンドルの作成のエラー

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に `xxx` エラー I/O 解決する方法を記述されています。ジョブが Windows エージェントで動作するとき。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は Tidal Enterprise Scheduler に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

トラブルシューティング

アカウントに Tidal な エージェント サービスを実行するこれらのローカル セキュリティ ポリシー権限があることを確認して下さい:

- オペレーティング システムの一部として機能して下さい
- プロセスのためにメモリ クォータを調節して下さい
- 横切ってチェックをバイパスして下さい
- バッチとしてログオンして下さい
- サービスとしてログオンして下さい
- プロセス レベル トークンを取り替えて下さい

ユーザのローカル セキュリティ ポリシーへのどの変更でも行う場合、停止し、Tidal な エージェント サービスを再開し、再度動作するジョブをテストして下さい。Tidal な エージェント サービス アカウントと異なっているジョブのために動作時ユーザを使用したら、動作時ユーザはバッチ ローカル セキュリティ ポリシー 権限としてログオンがあることを確かめて下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)